

平支 第 4 2 0 号

令和 5 年 3 月 6 日

保護者 様

大阪府立平野支援学校

校長 川村 典子

令和 4 年度 「学校教育自己診断」 アンケート結果等について（お知らせ）

平素より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびは学校教育自己診断の実施にあたり、保護者の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。別紙にてアンケート結果をお知らせします。今回の結果をふまえ、今後の教育活動に活かせるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【本件に関する問い合わせ】

首席：橋本万以子

Tel：06-6707-6731・6751

令和4年度
学校教育自己診断 結果

大阪府立平野支援学校

令和4年度「学校教育自己診断」アンケート(保護者)

回収率: 66%

No.	診断項目	A: よくあてはまる	B: ややあてはまる	C: あまりあてはまらない	D: まったくあてはまらない	E: わからない	F: 無回答
		肯定的回答数 (肯定的回答率)		否定的回答数 (否定的回答率)			
1	子どもの様子から、学校へ行くことを楽しみにしていると感じられる。	27	13	2	0	4	0
		40 (87.0%)		2 (4%)			
2	学校の授業は、体験的な学習や活動を積極的に取り入れるなど工夫がなされている。	32	14	0	0	0	0
		46 (100.0%)		0 (0%)			
3	学校行事は、子どもが積極的に参加できるように工夫されている。	31	13	1	0	1	0
		44 (95.7%)		1 (2%)			
4	学校は、地域の学校との「交流学习及び共同学習」にせ積極的に取り組んでいる。	20	13	4	0	9	0
		33 (71.7%)		4 (9%)			
5	学校は、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を活用し、個に応じた教育を行っている。	34	10	1	0	1	0
		44 (95.7%)		1 (2%)			
6	学校は、子どもの課題や家庭のニーズに即した、将来に向けた指導・支援を行っている。	25	17	4	0	0	0
		42 (91.3%)		4 (9%)			
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	18	7	3	0	18	0
		25 (54.3%)		3 (7%)			
8	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	22	13	2	0	9	0
		35 (76.1%)		2 (4%)			
9	学校では、教育活動全般において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導している。	30	12	2	0	2	0
		42 (91.3%)		2 (4%)			
10	学校では、子どもの個人情報を守られている。	27	12	1	0	6	0
		39 (84.8%)		1 (2%)			
11	学校は、ホームページやマチコミメール(緊急連絡システム)等を活用して、積極的に情報を発信している。	18	17	7	0	4	0
		35 (76.1%)		7 (15%)			
12	学校では、PTA活動が活動が活発に行われている。	20	13	6	0	7	0
		33 (71.7%)		6 (13%)			
13	教職員は、子どもの障がいを正しく理解して、指導を行っている。	30	14	0	0	2	0
		44 (95.7%)		0 (0%)			
14	学校は、パソコンやタブレット(iPad等)を使用した授業を実践している。	28	9	3	0	6	0
		37 (80.4%)		3 (7%)			
15	学校は、子どものことについて保護者の悩みや相談に適切に応じてくれている。	31	10	1	0	4	0
		41 (89.1%)		1 (2%)			
16	児童生徒会活動は、活発に行われている。	22	13	1	0	10	0
		35 (76.1%)		1 (2%)			
17	スクールバスについて、安心・安全に利用できる。	28	11	2	0	5	0
		39 (84.8%)		2 (4%)			
18	給食について、子どもへ安心・安全な給食が提供されている。	34	9	0	0	3	0
		43 (93.5%)		0 (0%)			
19	医療的ケアについて、適切な対応や情報交換が行われている。	23	12	1	0	10	0
		35 (76.1%)		1 (2%)			
20	学校は、地震や台風などの災害対策をとっている。	32	12	0	0	2	0
		44 (95.7%)		0 (0%)			

令和4年度「学校教育自己診断」アンケート(児童生徒)

回収率: 50%

No.	診断項目	A:よくあてはまる	B:ややあてはまる	C:あまりあてはまらない	D:まったくあてはまらない	E:わからない	F:無回答
		肯定的回答数 (肯定的回答率)		否定的回答数 (否定的回答率)			
1	学校に行くのが楽しい。	27	5	1	1	1	0
		32 (91.4%)		2 (5.7%)			
2	授業は、わかりやすい。	19	13	0	0	3	0
		32 (91.4%)		0 (0.0%)			
3	将来の進路や生き方について考える機会がある。	12	8	4	0	11	0
		20 (57.1%)		4 (11.4%)			
4	先生は、いじめについて私が困っていることがあれば真剣に考えてくれる。	15	8	1	0	11	0
		23 (65.7%)		1 (2.9%)			
5	クラスの先生以外の先生とも気軽に相談することができる。	16	9	1	1	8	0
		25 (71.4%)		2 (5.7%)			
6	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	21	6	2	0	6	0
		27 (77.1%)		2 (5.7%)			
7	体育祭、校外学習、修学旅行、文化祭などの学校行事は楽しい。	27	3	3	0	2	0
		30 (85.7%)		3 (8.6%)			
8	パソコンやタブレット(iPad等)を使う授業がある。	26	3	2	0	4	0
		29 (82.9%)		2 (5.7%)			
9	先生は、私のことについてよく理解してくれている。	26	7	2	0	0	0
		33 (94.3%)		2 (5.7%)			

令和4年度「学校教育自己診断」アンケート(教職員)

回収率: 100%

No.	診断項目	A: よくあてはまる	B: ややあてはまる	C: あまりあてはまらない	D: まったくあてはまらない	E: わからない	F: 無回答
		肯定的回答数 (肯定的回答率)		否定的回答数 (否定的回答率)			
1	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	28	36	4	0	1	0
		64 (92.8%)		4 (5.8%)			
2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。	10	41	14	1	3	0
		51 (73.9%)		15 (21.7%)			
3	学校は、学校運営に関わる会議を適切に設定している。	17	40	10	0	2	0
		57 (82.6%)		10 (14.5%)			
4	私は、学校の教育方針や学校運営についての考え方を理解している。	12	49	7	0	1	0
		61 (88.4%)		7 (10.1%)			
5	私は、教育活動や指導内容について、児童生徒の実態に合うように、教職員間で日常的に話し合っている。	35	31	2	0	1	0
		66 (95.7%)		2 (2.9%)			
6	私は、教育活動の工夫・改善を行っている。	24	43	1	0	1	0
		67 (97.1%)		1 (1.4%)			
7	私は、カウンセリングマインドを取り入れた児童生徒の指導・支援を行っている。	20	38	3	2	5	0
		58 (85.3%)		5 (7.4%)			
8	私は、家庭と連携し、児童生徒の指導・支援を行っている。	30	37	2	0	0	0
		67 (97.1%)		2 (2.9%)			
9	私は、児童生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	14	49	3	0	2	0
		63 (92.6%)		3 (4.4%)			
10	学校は、児童生徒の発達段階に応じた進路支援を行っている。	14	41	9	0	5	0
		55 (79.7%)		9 (13.0%)			
11	学校は、いじめを許さない雰囲気ができている。	23	37	6	1	2	0
		60 (87.0%)		7 (10.1%)			
12	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	18	30	7	0	14	0
		48 (69.6%)		7 (10.1%)			
13	学校では、児童生徒が学級担任以外の教職員とも気軽に相談することができる。	30	35	3	0	1	0
		65 (94.2%)		3 (4.3%)			
14	学校は、学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	31	36	2	0	0	0
		67 (97.1%)		2 (2.9%)			
15	学校は、地域の学校園との「交流及び共同学習」に積極的に取り組んでいる。	35	26	4	0	4	0
		61 (88.4%)		4 (5.8%)			
16	学校は、ホームページやマチコミメール(緊急連絡システム)等を活用して、積極的に情報を発信している。	26	38	4	0	1	0
		64 (92.8%)		4 (5.8%)			
17	私は、児童生徒の人権を十分に尊重したうえで、教育活動を行っている。	36	31	2	0	0	0
		67 (97.1%)		2 (2.9%)			
18	私は、担当クラスの児童生徒の障がいについて理解している。	31	36	0	1	1	0
		67 (97.1%)		1 (1.4%)			
19	学校は、児童生徒が使いやすいように、施設・設備を整備している。	19	37	12	0	1	0
		56 (81.2%)		12 (17.4%)			
20	学校は、ICTを活用した校務の円滑化を図っている。	18	40	6	0	5	0
		58 (84.1%)		6 (8.7%)			

No.	診断項目	A:よくあてはまる	B:ややあてはまる	C:あまりあてはまらない	D:まったくあてはまらない	E:わからない	F:無回答
		肯定的回答数 (肯定的回答率)		否定的回答数 (否定的回答率)			
21	私は、校内研修に積極的に参加し、研究と修養に努め、教育実践に役立っている。	31	28	7	1	2	0
		59 (85.5%)		8 (11.6%)			
22	学校は、児童生徒の指導・支援について、学部間の引継ぎや連携をうまく行っている。	13	41	7	1	7	0
		54 (78.3%)		8 (11.6%)			
23	学校は、バス会社と連携が取れている。	19	39	5	1	5	0
		58 (84.1%)		6 (8.7%)			
24	私は、児童生徒の健康管理についての対応を、クラス等で協力し行っている。	41	26	0	0	1	0
		67 (98.5%)		0 (0.0%)			
25	給食は、児童生徒の実態に応じて、安心・安全に提供されている。	37	29	3	0	0	0
		66 (95.7%)		3 (4.3%)			
26	医療的ケアについては、適切な対応や情報交換が行われている。	31	30	5	0	3	0
		61 (88.4%)		5 (7.2%)			
27	学校は、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を活用し、個に応じた教育を行っている。	30	38	1	0	0	0
		68 (98.6%)		1 (1.4%)			
28	学校では、児童生徒の個人情報を守られている。	35	31	3	0	0	0
		66 (95.7%)		3 (4.3%)			
29	学校は、地震や台風などへの災害対策をとっている。	32	33	2	0	2	0
		65 (94.2%)		2 (2.9%)			
30	私は、授業においてパソコンやタブレット(iPad等)を活用することができる。	33	29	4	1	2	0
		62 (89.9%)		5 (7.2%)			

学校教育自己診断アンケート結果にかかる考察等について

1. 集計方法について

(1) 「わからない」「無回答」については、全体数に含めて算出している。

2. 回収率について

		小学部	中学部	高等部	学部外	未記入	全体	全体(R03)
【保護者】	回収数	15	9	12		10	46	47
	回収率	58%	69%	39%			66%	64%
【教職員】	回収数	22	12	26	3	6	69	75
	回収率						100%	100%
【児童生徒】 ※	回収数	11	10	14		0	35	38
	回収率	42.3%	76.9%	45.2%			50%	52.1%

※【児童生徒】の回答の留意点については、次のとおりお知らせした。

- ・ 「自筆での回答、もしくは保護者の聞き取りによる代筆で回答できる場合は、ご提出ください。」(児童生徒用)
- ・ 「お子様が[児童生徒用]での回答が難しい場合、[保護者用]でお子様と一緒に考えてご回答いただいても差し支えありません。」(保護者用)

3. 集計結果について

(1) 肯定的回答率上位の5項目(数値が同数の場合、5項目以上記載)

【保護者】

No	診断項目	数値
2	学校の授業は、体験的な学習や活動を積極的に取入れるなど工夫がなされている。	100%
3	学校行事は、子どもが積極的に参加できるように工夫されている。	95.7%
5	学校は、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を活用し、個に応じた教育を行っている。	95.7%
13	教職員は、子どもの障がいを正しく理解して、指導を行っている。	95.7%
20	学校は、地震や台風などの災害対策をとっている。	95.7%
18	給食について、子どもへ安心・安全な給食が提供されている。	93.5%
6	学校は、子どもの課題や家庭のニーズに即した、将来に向けた指導・支援を行っている。	91.3%
9	学校では、教育活動全般において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導している。	91.3%
15	学校は、子どものことについて保護者の悩みや相談に適切に応じてくれている。	89.1%

【教職員】

No	診断項目	数値
27	学校は、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を活用し、個に応じた教育を行っている。	98.6%
24	私は、児童生徒の健康管理についての対応を、クラス等で協力し行っている。	98.5%
6	私は、教育活動の工夫・改善を行っている。	97.1%
8	私は、家庭と連携し、児童生徒の指導・支援を行っている。	97.1%
14	学校は、学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	97.1%
17	私は、児童生徒の人権を十分に尊重したうえで、教育活動を行っている。	97.1%
18	私は、担当クラスの児童生徒の障がいについて理解している。	97.1%
5	私は、教育活動や指導内容について、児童生徒の実態に合うように、教職員間で日常的に話し合っている。	95.7%
25	給食は、児童生徒の実態に応じて、安心・安全に提供されている。	95.7%
28	学校では、児童生徒の個人情報を守られている。	95.7%
13	学校では、児童生徒が学級担任以外の教職員とも気軽に相談することができる。	94.2%

(2) 肯定的回答率下位の4項目（数値が同数の場合、4項目以上記載）

【保護者】

No	診断項目	数値
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	54.3%
4	学校は、地域の学校との「交流学习及び共同学習」に積極的に取り組んでいる。	71.7%
12	学校では、PTA活動が活発に行われている。	71.7%
8	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	76.1%
11	学校は、ホームページやマチコミメール（緊急連絡システム）等を活用して、積極的に情報を発信している。	76.1%
16	児童生徒会活動は、活発に行われている。	76.1%
19	医療的ケアについて、適切な対応や情報交換が行われている。	76.1%
14	学校は、パソコンやタブレット（iPad等）を使用した授業を実践している。	80.4%

【教職員】

No	診断項目	数値
12	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	69.6%

2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。	73.9%
22	学校は、児童生徒の指導・支援について、学部間の引継ぎや連携をうまく行っている。	78.3%
10	学校は、児童生徒の発達段階に応じた進路支援を行っている。	79.7%

(3) 「わからない」「無回答」の合計数の上位5項目

【保護者】

No	診断項目	R04 (R03)
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	18 (23)
16	児童生徒会活動は、活発に行われている。	10 (16)
19	医療的ケアについて、適切な対応や情報交換が行われている。	10 (12)
4	学校は、地域の学校との「交流学习及び共同学習」に積極的に取り組んでいる。	9 (15)
8	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	9 (9)
12	学校では、PTA 活動が活発に行われている。	7 (▲)
14	学校は、パソコンやタブレット (iPad 等) を使用した授業を実践している。	6 (▲)

▲…令和3年度の診断項目なし

【教職員】

No	診断項目	R04 (R03)
12	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	14 (19)
22	学校は、児童生徒の指導・支援について、学部間の引継ぎや連携をうまく行っている。	7 (13)
7	私は、カウンセリングマインドを取り入れた児童生徒の指導・支援を行っている。	5 (7)
10	学校は、児童生徒の発達段階に応じた進路支援を行っている。	5 (17)
20	学校は、ICT を活用した校務の円滑化を図っている。	5 (6)
15	学校は、地域の学校園との「交流及び共同学習」に積極的に取り組んで	4

	いる。	(6)
2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。	3 (3)
26	医療的ケアについては、適切な対応や情報交換が行われている。	3 (5)

(4) 自由記述欄について

【保護者】【教職員】とも、次のとおり実施した。

- ①診断項目に対して、関連する番号と意見を記入
- ②診断項目以外で、学校教育全般についての意見を記入

【保護者】

上記①について、複数の意見があった項目は次のとおり。

11	学校は、ホームページやマチコミメール(緊急連絡システム)等を活用して、積極的に情報を発信している。
----	---

「お知らせ等のペーパーレス化」に5件の意見があった。

【教職員】

上記①について、複数の意見があった項目は次のとおり。

19	学校は、児童生徒が使いやすいように、施設・設備を整備している。
----	---------------------------------

「施設の老朽化」「校内の物の整理」「内線電話機等の設置や統一」等の意見が7件あった。

3	学校は、学校運営に関わる会議を適切に設定している。
---	---------------------------

「会議、研修が多い」等の意見が6件あった。

2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。
---	--

「仕事量が一部の教職員に偏っている」等の意見が5件あった。

21	私は、校内研修に積極的に参加し、研究と修養に努め、教育実践に役立てている。
----	---------------------------------------

「研修の過密」等の意見が3件あった。

1	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。
---	---------------------------

「校務量の増加」「教職員のコンセンサスを重視してほしい」という意見が1件ずつあった。

4. 考察について

【保護者】

ほとんどの項目で肯定的回答率が80%以上の評価(20項目中13項目)をいただいております、一定の評価は得ていると考えられる。

以下の3項目は、他と比較して肯定的回答率が低い。

7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	54.3%
---	---------------------------------------	-------

「学校いじめ防止基本方針」を年度ごとに作成し、その都度本校ホームページに掲載しているが、いじめ事案がないということもあり、校内体制が不明な保護者が多く存在すると思われる。

12	学校では、PTA 活動が活発に行われている。	71.7%
----	------------------------	-------

今年度、夏祭りが開催されたが、近年コロナ禍のため PTA 主催行事を開催できなかったことが影響していると予想される。

4	学校は、地域の学校との「交流学习及び共同学習」に積極的に取り組んでいる	71.7%
---	-------------------------------------	-------

コロナ禍の影響で中止されていた対面での交流学习を多数実施できたが、「わからない」の回答が9件あった。設問内容を具体的に記載するなどが必要と考えられる。

【教職員】

30 項目中、肯定的回答率が 90%台が 15 項目、80%台が 11 項目、70%台が 3 項目、60%台が 1 項目であった。

以下の3項目は、他と比較して肯定的回答率が低い。

12	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	69.6%
----	--	-------

保護者と同様、いじめ事案がないということもあり、実際に校内体制が稼働する場面がなく、診断項目に対して教職員の判断がつきにくい一面もあると思われる。

2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。	73.7%
---	--	-------

一部の教職員に仕事量が偏っているという自由記述が3件、会議・研修が多い等の自由記述が6件あり、校務に割ける時間が少ないと感じていることが原因ではないかと考えられる。

22	学校は、児童生徒の指導・支援について、学部間の引継ぎや連携をうまく行っている。	78.3%
----	---	-------

学部間の引継ぎや連携をとるための手段はあるが、各取り組みの目的を明確にする必要があると考えられる。

【児童生徒】

10 項目中、肯定的回答率が 80%以上の評価は 5 項目あり一定の評価は得ていると考えられる。次の項目は、肯定的回答率が 70%以下であった。

3	将来の進路や生き方について考える機会がある。	57.1%
---	------------------------	-------

日頃の教育活動から将来を見据えた取り組みがされているという意識づけが低いのではないかと考えられる。

4	先生は、いじめについて私が困っていることがあれば真剣に考えてくれる。	65.7%
---	------------------------------------	-------

保護者、教職員と同様、いじめ事案がなく、診断項目に対しての判断がつきにくいと思われる。

5. 学校運営協議会の意見

- ・「4. 考察について」の中で「肯定的回答率が低い」という表現があるが、決して低い数値ではない。
- ・いじめ事案がいつ生じても対応できるよう、校内体制が整っていることが大切である。
- ・教職員アンケートの設問「学校では、児童生徒が学級担任以外の教職員とも気軽に相談することができる。」において、肯定的回答率が高いのが良い。
- ・教職員のゆとりを生み出す組織の工夫をしても、生まれたゆとりから教材研究等に時間を費やすと、また時間が足りないという循環になり、矛盾が生まれる難しさが生じるだろう。